

脳梗塞

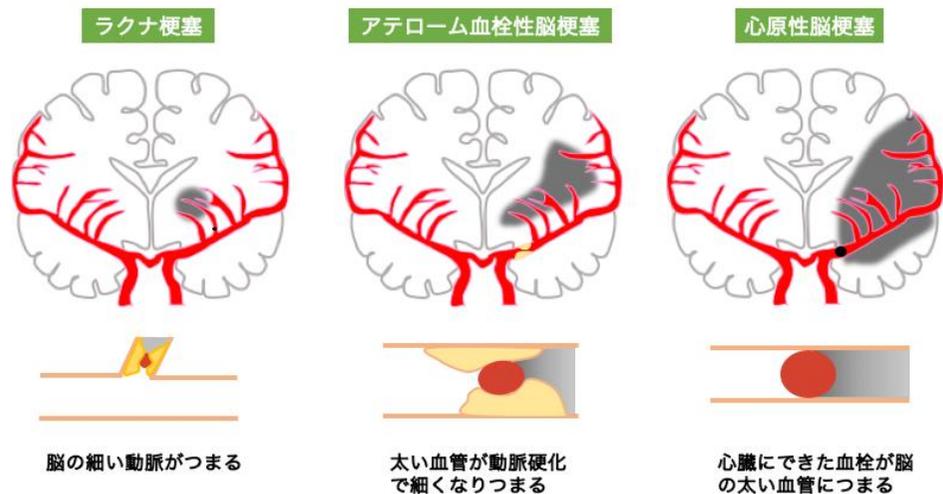
脳梗塞とは脳の血管が突然つまって血流が途絶え、脳の細胞が死んでしまう病気です。早期に適切な治療を受けないと後遺症を残したり、死亡する可能性もあります。

脳梗塞・脳出血・くも膜下出血を合わせて脳卒中といいますが、脳卒中になる方は、年間111万人おり、10万人が亡くなります。その内の6万人が脳梗塞です。

種類

脳梗塞には血管のつまり方によって、ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症の3種類があります。

①ラクナ梗塞	太い血管から枝分かれした細い血管(=穿通枝)が詰まる、直径1.5cm以下の脳梗塞
②アテローム血栓性脳梗塞	首や脳の血管の動脈硬化が進行し、やがて血栓を形成して血管が詰まる。
③心原性脳塞栓症	心臓で出来た血栓が血液に運ばれて、脳の太い血管を詰まらせる。



危険因子

高血圧 糖尿病 心房細動 脂質異常症 喫煙
高血圧の合併が60%と最も多い。

原因

動脈硬化	血管が徐々に狭くなり、局所に血栓を形成して発症する。
心房細動	心臓内に血栓を形成して、これが剥がれて脳へ飛ぶことにより発症する。
脱水	血液が濃くなり固まりやすくなる。

症状

- 急に手足の動きが悪くなった。
- 急に片方の手足や顔のしびれが起こった。
- 急に呂律が回らなくなったり、言葉が出にくくなった。
- 急に片方の目が見えなくなった。
- 急にめまいがして体のバランスがとれなくなった。
- 急に意識がなくなり倒れてしまった。

などがあります。

大きなポイントとしては、●突然症状が出る。 ●麻痺やしびれは半身(右手足とか左手足)に出る。 ●言語障害など「首より上の症状」がある。などの点が重要で、これらの症状があるときにはまず脳梗塞を疑います。

治療

血栓溶解療法

血栓を溶かす薬を静脈の中に注入する治療法です。点滴で行う治療のため、患者様への負担は少ない一方で、点滴で投与された薬剤は血栓に対しピンポイントで作用するわけではないため、大きな血栓は溶けない場合もあり、開通率は約40%とされています。

血栓回収療法

脚の付け根からカテーテルを入れ、脳の詰まっている血管部分まで誘導し、血栓を回収する方法です。その回収の方法は大きく分けて2つあります。

- ①血栓を碎きながら吸引をして血栓を回収する方法。
- ②ステント(筒状の網)で血栓を絡めとる方法です。

通常、この2つを組み合わせて血栓回収を行います。血栓の回収率は80%程度と高率です。

